

発達心理学の未来—次世代との対話

- 企画： 日本発達心理学会第25回大会実行委員会
司会： 板倉 昭二 (京都大学大学院文学研究科)
明和 政子 (京都大学大学院教育学研究科)
話題提供者： 京都市立 堀川高等学校
京都府立 洛北高等学校
大阪府立 北野高等学校
滋賀県立 膳所高等学校 (順不同)
指定討論者： 浅田 稔# (大阪大学大学院工学研究科)
内田 伸子 (筑波大学)
松沢 哲郎 (京都大学霊長類研究所)
吉川 左紀子# (京都大学こころの未来研究センター)

[企画主旨]

本大会のテーマは、「**発達する発達心理学—未来と創る**」です。

今日、高校と大学の連携のもとに行われる教育活動、高大連携の取り組みが数多く行われるようになりました。それに応じて、各種学会でも、高校生に参加発表の機会を与え、次世代の人材育成に力を入れる新たな試みが始まっています。本大会でも、彼ら未来の世代に発表の機会を提供し、ともに新しい発達心理学を模索し、築いていきたい。そうした思いから、実行委員会では一般公開特別シンポジウムとして、発達心理学に強い関心をもつ現役高校生と、発達心理学および隣接領域において世界的に活躍、当該領域を牽引してこられた研究者との対話イベントを企画しました。タイトルは、「**発達心理学の未来—次世代との対話**」です。

本シンポジウムは、大会開催日をさかのぼること半年以上も前から準備を重ねてまいりました。まずは、それぞれの高等学校のご協力のもと、参加を希望する高校生を募っていただきました。幸い、参加希望の声を数多く寄せていただき、各校においてグループ編成を行っていただきました。

続いて、人間の心の成り立ちやそれを支える環境などの問題について、次のような問いを各校に投げかけ、考えていただきました。

- ①「ロボットは人間になれるのか？」—人間らしい心をもつロボットに必要な条件
- ②「人間の心はいつ生まれるのか？」—人間の心のはたらきの発達の起源
- ③「人間が幸福に育つために必要な条件とは何か？」—人間らしい心を育む環境条件
- ④「人間を特徴づける心のはたらきとは何か？」—他の動物とは異なる人間の心のはたらき

実行委員会の若手メンバーが各校を訪問し、高校生校生のみなさんとこれらの問いを数ヶ月かけて議論してきました。当日は、その成果を各校から発表いただく場となります。問いへの答えだけでなく、さらに知りたいこと、大学で取り組む学問として今後やってみたいことなど、自由な発想や切り口で発表いただく予定です。それらを受け、指定討論として参加いただく先生方には高校生との対話をお願いしています。こうした時間を共有することにより、本大会のテーマを次世代のみなさんとともに考え、模索するとともに、今後活躍が期待される優れた人材の発掘を目指します。

会員、一般を問わず、数多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

本シンポジウムの開催にあたっては、各方面より多大なご支援をいただきました。参加いただいた各校の先生方をはじめ、実行委員会の若手メンバーは定期的に各校を訪問し、議論を重ねてくれました。京都大学入試企画課の皆様には、本学と参加校との橋渡し、調整役を担っていただきました。ここに厚く御礼申し上げます。なお、本企画は文部科学省科学研究費補助金 新学術領域「構成論的発達科学—胎児からの発達原理の解明に基づく発達障害のシステムの理解」との共催にて行われます。